



2018年9月10日発行

公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 松島晃子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



子ども達と平和について考える —優しい気持ち—

8月27日(月)より幼稚園の2学期が始まりました。初日の始業礼拝の中で子ども達と「平和」について話をしました。まず初めに私が幼稚園に通っていた頃の話をしました。幼稚園の頃、友達に痛い思いをさせてしまったのにどうしても「ごめん」ということを言えなかったことを20年以上経っても思い出すと辛い気持ちになることを話しました。子ども達に「同じように友達にごめんねと言えなかったことがある人はいるかな?」と聞いてみたところ1人の子がゆっくりと手を挙げてくれました。その次に、今朝久しぶりの登園で泣いていた子が他の子も泣いている姿に気づいた時に側に来て頭を撫でてくれていたことを話しました。神さまからいただいたみんなの「手」は友達に勇気をあげることができること、「口」では優しい言葉を掛けてあげられることもできるし、嫌な想いをさせてしまった時に「ごめん」という気持ちを伝えることもできるという話をしました。子ども達も自分の体験を話してくれました。その後「平和」について子ども達に投げかけました。2人の年長児が手を挙げ、平和という言葉をそれぞれ自分なりの言葉で表現してくれてとても感動しました。その2つは「しあわせなこと」と「やさしくすること」です。



上:年下の子に絵本を読んであげているところ

最後に司会の保育者が「チョコレートやクッキーはみんなに分けると減ってしまうけど、みんなに分けると増えるものはなーんだ?」というクイズを出してくれました。答えは「優しい気持ち」です。子ども達の中で答えられる子はいませんが、「優しくしてあげると、してもらった子が優しい気持ちになって、その子がまた他の子に優しくしてどんどん広がって行くよ」という話を真剣に聞いていました。

「優しい気持ちは増える」はこれからの社会を担う子ども達への一番のメッセージだと改めて感じました。これからも様々なテーマで子ども達と話しを続けていきたいと思えます。掲載した写真から子ども達の優しさや幸せの表情を感じとっていただければと思います。

「どんどん小さくなっていく袋。でも優しさはいっぱい」

年少児と一緒に野草園に行き木の実などを拾っていた時の事です。A君とB君と3人で散策をしていると、A君がとても大きな葉っぱを見つけました。B君も欲しくなり、3人で探しましたがなかなかB君が満足する葉っぱは見つかりません。どうとう泣きそうになったB君の隣にいたA君は「僕のあげるよ」と葉っぱを差し出しました。そればかりでなく元気を出してもらおうと必死に「ほら、どんぐりもあげる」とどんどんB君の持っている袋に自分の拾った木の実を入れてあげていました。A君の袋の中身はほとんど空っぽになってしまいましたが、心の中にあるたっぷりの優しさが見えた一場面でした。A君はとてもうれしそうな表情で「僕はこのどんぐりでいいや」と数個しか入っていない袋を大事そうにリュックにしまいました。

(幼稚園 高橋祐子)



左右:自分より年下の子のお手伝いをしているところ

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわがやを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に伝えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

手をつなげば

うれしくなる

暖かい気持ちになる



YMCAと私

基督聖教団仙台宣教センター
牧師 中澤竜生



「最後に、兄弟たち。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことに、また、何か徳とされることや称賛に値することがあれば、そのようなことに心を留めなさい。」

新約聖書 ピリピ人への手紙 4章8節

先の言は、私の勤める基督聖協団仙台宣教センターの標語です。この標語を前に、良い働きへの関心を、教会内だけに向けず外に向けていこうと、センタースタッフと話し合っていました。そのような時、私の同労者でもあって、私の活動の理解者でもある東北ヘルプ事務局長川上直哉氏より、YMCAの事を聞いたのでした。それで私は、早速、石巻広域ワイズメンズクラブ設立の会合に参加してみました。そこで、「地域への貢献」を目指して積極的に関与しようとする清水弘一氏のお話しに感銘を受けたのでした。有言実行。仙台市から石巻市へと通い、設立に至った経緯に、心から尊敬を抱く私でした。これから貢献する様子を間近で見ることができればと思ったことでした。

ですが、「どのようにして」というのが、私の課題でした。というのも、途中で投げ出せない「人間関係」が、「3.11」以来の支援先である南三陸町にあり、これ以上の活動範囲を増やす事は難しかったのです。

そうした中で、仙台YMCAにおける礼拝奉仕にお招きを頂くことができました。初めて参加したYMCA礼拝でした。素朴でありつつも「YMCAはイエス・キリストの教えを基本とした活動である」ということを確認できた体験となりました。その後、少しずつですが、仙台青葉城ワイズメンズクラブの皆様ともお顔が分かるようになる中で、「何ができるか」よりも、まずはクラブに入会して出来ることを、ひとつ思いとなって取り組もうと、入会を決意しました。

今後も宜しくご指導をお願い致します。

ボランティア ぼらんていあ

仙台青葉学院短期大学
(こども学科1年)
鈴木萌さん



今回、ひかり組キャンプのボランティア活動に参加させていただき、子供の発想力の豊かさ、好奇心、探求心のすばらしさを様々な場面で感じました。一泊二日のキャンプの中で特に子供たちの好奇心の素晴らしさを感じたのは虫探しの場面です。虫がいそうな場所の特徴を友達と共有しあいながら好奇心をフル活動させそれぞれ見つけたい虫を探していました。

また子供の発想力の豊かさを改めて感じました。お魚釣りをしている際、雨が降っているから魚が驚いて家に帰ってしまったのではないかという意見を始めとし、魚が釣れない理由を様々な視点から話し合っている姿がとてもかわいらしかったです。

このように今回キャンプボランティアに参加し子どもと様々な経験を共有したことで将来どのような保育者になりたいか具体的に考えることができました。今回このような貴重な経験ができ感謝の気持ちでいっぱいです。

TOPIC! ～西中田保育園～

1999年4月に開園したYMCA西中田保育園では、20年目を迎えた今春2階テラス(86.84㎡)の人工芝張替工事を行いました。

平素より協力いただいている建築会社のご協力で、ふわふわフカフカの「長目」と走りやすい「短い目」の人工芝2種に張り替え、裸足で走りまわったり、座り込んで遊んだりできる場所が1ヶ所増えました。これまで保育室でしかできなかったブロック遊びやお話しも温かい日差しの下でできるようになりました!

(西中田保育園 高松成士)



《2018年度仙台YMCA職員採用試験》

学校法人仙台YMCA学園、社会福祉法人仙台YMCA福祉会、NPO法人仙台YMCAファミリーセンターで職員採用試験を行います。

詳しくは仙台YMCAのホームページまたは下記担当までお問い合わせください。

1. 採用職種

(1) 仙台YMCA学園

一般職・幼稚園教諭:常勤職員・臨時職員(各若干名)

(2) 仙台YMCA福祉会

保育士職:常勤職員(3~5名)・臨時職員(20名程度)

非常勤職員(若干名)

調理員職:常勤職・臨時職員・非常勤職員(各若干名)

栄養士職:臨時職員(若干名)

保育補助:臨時職員・非常勤職員(各若干名)

(3) 仙台YMCAファミリーセンター

一般職:常勤職員・臨時職員・非常勤職員(各若干名)

2. スケジュール

第1回合同説明会 日時: 9月15日(土)10時~12時

第2回合同説明会 日時: 10月14日(日)10時~12時

※合同説明会お申し込みは

仙台YMCAのホームページ<http://sites.sendai-yymca.org/top/>の

「2019年度職員採用試験のお知らせ」<職員合同説明会参加フォーム>

からお願いいたします。

職員採用試験応募書類提出締切 10月20日(土)必着

職員採用試験

【職業適性検査、性格検査、面接

実技(保育士・幼稚園常勤職員・臨時職員希望者のみ

:ピアノ弾き歌い絵本読み聞かせ)〈課題自由〉】

3. お問い合わせ・お申し込み先

仙台YMCA法人本部 職員採用係

〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7

TEL:022-222-7634 / FAX:022-222-2952 E-mail:honbu@sendai-yymca.org URL: <http://sites.sendai-yymca.org/top/>

皆様のお支えに
心より感謝申し上げます

2018年7月1日～8月31日

◆一般会員
維持会員

A会員/10,000円, B会員/20,000円, C会員/30,000円

継続A会員

伊勢文夫 渡辺能充 狩野和哉

法人会員

A会員/10,000円, B会員/30,000円, C会員/50,000円, D会員/100,000円

パートナー会員

A会員/5,000円, B会員/10,000円, C会員/15,000円

◆協力会員
サポート会員

A会員/1,000円, B会員/3,000円

B会員

青木満里恵 阿部かよ子 阿部安子 石川光晴 石田信正 遠藤元気
大林健太郎 菊地信忠 木村孝禅 木村純 桜井美智江 関喜一郎 日野峻
関川祐一郎 千葉徳正 千葉雅俊 西村富子 平井孝次郎 山田和佳子

一般会員・協力会員を随時募集中です。

ぜひ会員として仙台YMCAの活動をお支えください

お問合せ: 本部事務局 TEL:022-222-7634 FAX:022-222-2952

さとう宗幸デビュー

40周年記念コンサート
～今が青春～



2018年

さとう宗幸デビュー40周年記念コンサート
～今が青春～

日時2018年10月25日(木)・26日 開場18:30 開演19:00

会場 日立システムズホール仙台 シアターホール

全席指定 前売5,000円 当日5,500円

プレイガイド ◆仙台三越 ◆藤崎

◆チケットぴあPコード114-834 TEL:0570-20-9999

お問い合わせ さとう音楽事務所

TEL/022-263-3660 (担当:久保・渡辺・浅野)

「キリスト教理解」講座

第20回「十戒の最初」

日本基督教団 石巻栄光教会
牧師 川上直哉

1. 旧約聖書に練りこまれたもの

キリスト教を理解するためには、聖書を理解しなければなりません。聖書は、キリスト教的な信仰と生活のために絶対不可欠なものとされています。

聖書は、二つに分けられています。一つは「新約聖書」です。それはイエスの十字架物語を核としています。もう一つは「旧約聖書」です。それは十戒を核としています。「イエスは旧約聖書の精神を完全に具現化した結果、十字架にかけられて殺された」ということが、イエスの十字架物語に描かれています。とすると、キリスト教の核心は十戒にある、と言えるかもしれません。

旧約聖書は、長い歴史を背景にもっています。今から3000年くらい前、現在のイランからエジプトに至る広大な地域が、世界戦争を続けていました。

巨大な文明が興り、衝突し、生存競争を続ける。

そうした中で、チグリス・ユーフラテス河を中心にした地域と、ナイル河を中心にした地域に、世界は二分されて行きます。その間に挟まっていたのが、現在のパレスチナ地域です。そこに小さくても文化的な小国がありました。東西二つの勢力のはざま、上手に身をこなしながら、その国は南北に分裂しながらも数百年間生き残りますが、最後は悲劇的な終末を迎えます。東(バビロン)の勢力下に収まって見せながら西(エジプト)の勢力に秋波を送る、そのタイミングを間違えて、この小国はバビロンによって完全に滅ぼされることになります。

もう二度と裏切りを許さない、という事なのでしょう。その時、この地の人々は散らされ、有力者は帝国の首都バビロンに拉致連行されてしまいます。

その艱難辛苦の中で、旧約聖書が編纂されるのです。いつか復興の時が来て、自分たちが解放される。

その希望が、旧約聖書の中に練りこまれて行きます。そして、その作業がまだまだ続くそのなか、突然バビロンが滅ぼされ、自分たちが解放され、自分たちが故郷で新しい国づくりを許される、という奇跡が起こるのです。その喜びが、旧約聖書に練りこまれます。そして更に、その復興事業が決してうまくいくことばかりではない、その苦しみもまた、旧約聖書に練りこまれることになります。

2. 十戒の背景

十戒は、聖書の神がエジプトから奴隷を解放し、そして新しい国づくりのために神が与えたもの、として旧約聖書に物語られます。その背後に、バビロンへの隷属からの解放を待ち望む切なる思いが読み取れる気がします。バビロンの宿敵こそが、エジプトでした。神がエジプトを罰して奴隷を解放する——この筋書きには、隷属状態にある人々が絞り出した知恵の、緊張感あふれる雰囲気を読み取れると思います。

日本でも米国でも、同様の知恵が絞り出されたことが知られています。

たとえば奄美諸島では、薩摩の支配に呻吟していた頃、奄美の人々にしかわからない言葉を早口で唄う、という仕方で、その苦しみを訴えともに泣き痛みを分かち合う歌が作られ、今に伝承されています。

あるいは、たとえば米国では、アフリカから拉致連行され家畜として扱われた人々が、聖書にある出エジプトの物語等をアフリカのリズムに乗せて歌い、絶望を拒絶して解放の時を待ちました。それが黒人霊歌として今に残されています。

十戒とは、そうした解放への希望の焦点として聖書に描かれています。解放の喜びの先に、どんな世界が待っているか。それが、十戒に書き込まれているのです。そしてそれが、イエスの生涯において完全に具現化した、というのが、キリスト教の信仰となっています。

3. ラブコール

十戒の最初は、どうなっているのでしょうか。それは「奴隷を解放するチカラがあること」を宣言することで始まります。そして、そのチカラが呼び掛けます。「奴隷を解放するチカラ“だけ”を頼って国を作ってくれ」と。それは、聖書の神のラブコールなのです。十戒は、奴隷のいない世界、人間が道具とされない世界と一緒に作ろう、というラブコールで始まる。次回は、その展開を見ていくことにしましょう。

十勝産じゃがいも・かぼちゃ販売のお知らせ

今年も美味しいじゃがいも・かぼちゃを収穫予定です。
 今回も昨年ご好評いただいた三種盛り合わせも販売いたします。
 是非お買い求めください!!

◆数量:じゃがいも 120箱(1箱10kg)
 かぼちゃ 60箱(1箱10kg)
 三種盛り 121箱(じゃがいも3kg、かぼちゃ4kg、たまねぎ3kg)

◆費用:じゃがいも 2,200円
 かぼちゃ 2,800円
 三種盛り 2,800円

お申込方法:注文用紙に記入の上、FAXまたはお電話にてお申込ください。
 注文用紙は仙台YMCA各施設でお渡ししています。
 電話022-222-7533 FAX022-222-2952

お支払い方法:予約時、又は商品受渡し時に現金でお支払いください。
 (つり銭のないようご協力お願いします)

※商品の受渡しは立町会館にて10月15日午後15時以降可能です

仙台YMCAバザー収益金報告

6月10日に開催されたYMCAバザーには沢山の方にご来場いただきました。7/8月合併号で掲載できなかった収益金のご報告をさせていただきます。

収益金:971,365円

今回のバザーの益金はYMCAの活動を通して

- ・児童養護施設の子どものための支援
- ・障がいのある子どもたちの支援
- ・子どもたちの健全育成活動を支えるボランティア育成支援に用いられます。

来年も仙台YMCAバザーが開催される際は皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

ありがとうございました。(健康教育 増山和憲)



『わくわくDAY』

秋の恒例行事となっている『わくわくDAY』の季節が今年もやってきました。例年、たくさんの子どもたちが集い、野外で思いっきり遊び、友だちとの交流を深めています。

今年も昨年大好評だった大衡村の『万葉クリエートパーク』で実施します。『長いローラー滑り台』や『アスレチック遊具』、『そり滑り場』等があり、子どもたちにとっては魅力的な空間が広がっています。いっぱい遊んで、野外で美味しいお昼ごはんを食べて秋を満喫しましょう! みなさんの参加を心からお待ちしています。

日程 10月28日(日)

場所 万葉クリエートパーク

対象 年長～小学生 参加費4,500円

定員 80名(定員になり次第締切りとなります)

※YMCAのプログラムに初めて参加される方、1年以内に季節プログラム・レギュラー(通年)クラスに参加のない方は、

申込時に 別途 季節会費2,000円を頂戴いたします。

西日本豪雨災害緊急支援募金 中間報告とお礼

2018年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に広い範囲で記録された集中豪雨は多くの死者、行方不明者を出し、広範囲にわたり土砂崩れなど生活道路が通行止めになり、今も避難生活を余儀なくされている方が大勢いらっしゃいます。このような現状にある中、仙台YMCAでは、全国のYMCAと協同して、「西日本豪雨災害緊急支援募金」を7月17日から実施し、2回の街頭募金の実施と、継続的な募金のご協力を呼び掛け、YMCAに関わる方々を中心に多くの募金が寄せられております。心より感謝申し上げます。この募金活動は10月31日まで行われます。引き続きみなさまのご協力をお願いいたします。

実施期間:7月17日(火)～10月31日(水)
 西日本豪雨災害緊急支援募金

◆街頭募金:7月16日(日)募金額289,208円
 7月22日(日)募金額148,319円

場所:アーケード街定禅寺通り入口
 フォーラス前、GUCCI前

◆各YMCA施設のスタッフ・メンバー
 および個人・団体からの募金

募金額171,532円
 募金額合計609,059円
 (9月5日現在)

- 支援先
- 1.支援ワーク(泥かきワーク)
 - 2.子どもへのレクリエーションや心のケア
 - 3.リフレッシュキャンプへの招待

【振込先】

郵便振替口座 02290-0-2219
 仙台YMCA

*通信欄に「西日本豪雨災害」とお書きください。

～水の事故から子どもたちの命を守る～

第21回記念 仙台YMCAチャリティゴルフ

支援を必要としている子どもたちを励ますことを目的に

1998年「仙台YMCAチャリティゴルフ」が始まり、今年で21回目を迎えます。

チャリティゴルフでは、趣旨をご理解いただき、参加費等の収益を水の事故から子どもたちの安全を守る『ウォーターセーフティーハンドブック』を贈る資金や全国YMCAリーダー研修会参加費用の助成、仙台YMCA子ども支援基金として役立たせていただきます。また、当日のイベント運営のみならず計画や準備をすべてボランティアの実行委員によって運営されていることも「仙台YMCAチャリティゴルフ」の特徴です。趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

日程 2018年10月18日(木)(雨天決行)

会場 泉国際ゴルフ倶楽部

参加費 一人4,000円(プレー代別)

一協賛品をご提供いただける企業、団体、個人の皆様を募集していますー

※ご連絡をいただければ受取りに伺います。

仙台YMCA TEL:022-222-7533

※未使用のものに限らせていただきます。

(ご協賛例...商品券、宿泊券、衣料品、ジュース、お酒、ゴルフ用品、雑貨など)

※協賛品は仙台YMCA立町会館及び最寄りのYMCAの施設にお持ちください。

(担当/山野克俊)